

日本で掛図がつくられたのは、明治6(1873)年のことでした。掛図とは、学校の教室において黒板や壁面に掲げて教授に用いた大判の絵図や表などをさし、クラスでの一斉授業に用いる視覚教材として普及していきました。しかし、掛図は使用するたび損傷が進むし、大形であることから保管が容易でないことも加わり、使用されなくなったものは破棄されやすい運命にありました。そのため普及にもかかわらず、今残っているものの数はそれほど多くありません。

当館では教育史コレクションの充実をはかるため、教科書と同様に掛図を重要な価値をもつ資料としてとらえ、地道に収集を続けてきました。一部は先に開催した「明治前期教育用絵図展」で紹介いたしましたが、これ以降の掛図も数多く所蔵しています。それらは、今後実施予定の掛図から教育の歴史をたどる展覧会の場で紹介したいと考えています。



読書入門掛図
文部省編輯局 明治20(1887)年

■初期の掛図

東京師範学校は明治5(1872)年に編集局を設け、欧米の教科書を参考に、翻訳や翻案によって教科書の刊行にあたっていましたが、翌年に米国で刊行されていた各種の初等教育用チャートを模して、「単語図」「連語図」など計28枚を製作しました。その後明治7(1874)年8月に、師範学校編集刊行の児童用教科書および掛図の多くが改版され、全国各地で翻刻されて普及していきました。

このような掛図の他に文部省が刊行した掛図が「博物図」です。「博物図」は明治6年1月から明治11(1878)年3月までの間に刊行されたもので、植物関係5図、動物関係5図からなります。また明治12(1879)年、文部省はそれまでの掛図をあらためて、新たに「小学指教図」全10枚をつくりました。それらは1880年代まで全国の小学校で使用されています。

■検定教科書時代(明治19~33年)

「学制」が布かれた当時、教科書はイギリス、フランス、アメリカなどの影響を受けながら文部省が編集して普及をはかりました。最初は翻訳教科書や民間人の書いた書物が多く用いられていましたが、明治13(1880)年頃から儒教倫理を重視するものへと移行していきました。

同時にこの頃から教科書は各府県が一定の書式によって文部省に届け出ることになったように、しだいに統制が加えられてきました。そして明治19(1886)年、教科書はす

べて文部省が検定することとなり、教科書検定制度がはじまりました。内容的には教育における国家主義が強まった時代といえます。文部省はこの時期「読書入門掛図」など少数の掛図の編集にとどまりましたが、不足した分をおぎなうために民間教科書会社から多くの掛図が発行されるようになってきました。

■ 国定教科書時代（明治37～昭和21年）

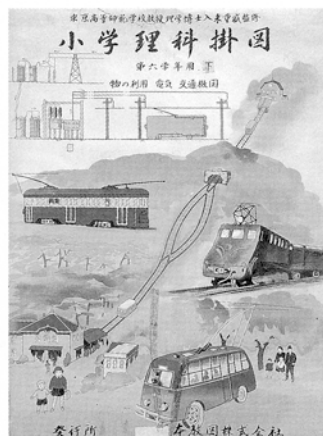
日清戦争をはさんで、日本の資本主義体制は強化され、出版界にも利潤を追い求める傾向に拍車がかかりました。結果として教科書採択にからむ問題が起こりはじめ、明治35（1902）年の教科書疑獄事件を契機に、教科書は国定となりました。明治36（1903）年「小学校令」の改正により、小学校教科書を国定と定めた翌年からその使用がはじまりました。国定期の最初はアメリカやイギリスの影響が強く、どちらかというとな近代的性格を有するものでしたが、しだいに軍国主義的性格を強く打ち出したものになっていきました。

国定期において、文部省は修身、地理、算術、理科などの科目において数多くの掛図を編纂・発行しています。明治40（1907）年の「教科用図書検定規則」の部分改正では、小学校教科書を教師用と児童用に分け、掛図は教師用図書に付属し、児童に示すものとされました。昭和16（1941）年からの国民学校時代には、掛図は視覚教材として特に重要視され、国民科修身、同国語（第1、2学年のみ）、理数科算数、芸能科音楽、同図画、同工作、同裁縫などの掛図がつくられています。

■ 戦後の掛図

昭和21（1946）年、アメリカ教育使節団が来日し、その報告書で教科書については民間出版、学校の自由採択をすすめました。翌年「教育基本法」「学校教育法」が公布され、以後、いわゆる「6・3・3・4制」になっていきました。文部省はこれに応じて、『くにのあゆみ』『こくご』をはじめ社会科などで新しい教科書を編集・発行しました。昭和22（1947）年に『学習指導要領』がだされると、教科書もそれに沿う内容になり、そして昭和24（1949）年からは教科書検定制度が施行されます。

戦後教科ごとにさまざまな掛図が民間教科書会社などからつくられていますが、やがてスライド、OHP、テレビ、ビデオなどの映像機器の開発により、理科教育の標本類や地理教育での地図類をのぞいて、視覚教材は掛図から新しいメディアへとかわっていきました。



小学理科掛図 第六学年用後編
日本教図(株) 昭和26(1951)年